

音読

以前、元北海道教育大野口芳宏氏の講座に参加したことがありました。野口氏は国語界では有名な方で、その著書の「授業で鍛える」はバイブル的存在です。その氏がその年の3月に教職を退職されて、フリーな立場で全国で「授業道場 野口塾」なるものをスタートさせ、栄誉ある第1回目が奈良でした。その講座に参加したのです。

その日は国語の音読と作文が中心の講座でした。特に音読は国語学力の基礎と氏がとらえ、音読の基本について教えてくださいましたが、その中に「音読の基礎条件」と「音読の基礎技術」がありました。ここに紹介しますので、自分の音読に生かしてください。

音読の基礎条件

- 姿勢** 肺にいっぱい空気を取り込む。立つことによって胸腔きょうきょうが広がり安定した声が出る。
- 口形** 口を正しく開く。正しい口形だとテープを早回しにしても崩れずに聴き取れる。
- 声量** 相手のことを考えた聞きやすい声の大きさ。
- 読速** 癖である。自分で意識し治そうとすることが必要。

音読の基礎技術

- 題名** ゆっくりはっきりと大きく読む。大きな字は大きく、小さな

な字は小さく読むように。

作者 本文よりは小さな声で。小さな字。

題名と本文の間 間をとる。

前書き 抑揚をつけずに淡々と。平調で。

話の始まり【起】 静かに沈めて読み始める。

地の文と会話文 地の文は抑えて、会話文は高く読む。また会話文の前後は十分に間をとる。

昇調・降調 文脈に応じて昇調・降調を使い分ける。

音読は「読み分ける」ことが大切とおっしゃっておられました。そしてその読み分けの基準は文脈なのです。

それと授業で言っていた「語句認知」「目ずらし」を意識して音読を進めていってくださいね。

全員あそびを実施します。

先日6年生になって初めてのロング休みがありました。すると朝から「センス、ロングは何をして遊ぶの？」どうやら5年生ではロング休みを全員あそびとしていたようです。また担任もクラス全員で遊ぶ機会がほしいと思っていたので、すぐに全員あそびをみんなに提案しました。そして6年2組では次の日に全員あそびを実施することにしました。

ロング休み 毎週金曜日